

2026年12月期 第2四半期 決算説明会資料

2026年8月7日

ローランド株式会社



Video Switcher『V-1-4K』

● 2026年12月期 Q2累計業績

- ・ 売上は、市場回復や新製品効果により増収
- ・ 営業利益は、米国関税等コスト増要因あるも、価格適正化や為替効果等により増益

● 2026年12月期 通期業績見通し **増収・増益（変更なし）**

- ・ 半導体メモリ価格が想定を大幅に上回り、徐々に影響が本格化見込み
- ・ 一方、価格適正化対応および米国関税率の軽減に加え、為替効果もあり、**コスト増要因は概ね吸収可能**
- ・ Q3以降、受注残出荷、新製品投入等により着実な積み上げを見込む

● 株主還元 **（変更なし）**

- ・ 中間配当として、期初予想通り一株当たり85円を決議

1 **2026年12月期 第2四半期決算概要**

2 **2026年12月期 通期業績見通し**

3 **補足資料**

1 2026年12月期 第2四半期決算概要

2 2026年12月期 通期業績見通し

3 補足資料

決算のポイント（Q2累計）

売上高

516億円

(YoY : +**12.9%**)

- ・ 楽器市場はゆるやかな回復基調が継続
- ・ 価格適正化効果に加え、新製品群も貢献

営業利益

44億円

(YoY : +**16.0%**)

- ・ 関税、販管費等のコストアップ影響あるも、打ち返しを継続
- ・ 為替の追い風もあり増益を確保

中間純利益¹

31億円

(YoY : -**18.3%**)

- ・ 前期に税費用の期ズレによる一過性要因等があった反動

¹ 中間純利益は、「親会社株主に帰属する中間純利益」を指す

連結業績

	2025年12月期 Q2累計 ¹		2026年12月期 Q2累計 ²			(期初計画比)
(単位: 百万円)	実績	売上比	実績	売上比	YoY	
売上高	45,806	100.0%	51,697	100.0%	+12.9%	+4.4%
売上総利益	19,756	43.1%	21,667	41.9%	+9.7%	+2.6%
販管費	15,931	34.8%	17,229	33.3%	+8.1%	+0.1%
営業利益	3,825	8.4%	4,437	8.6%	+16.0%	+13.7%
中間純利益 ³	3,914	8.5%	3,199	6.2%	-18.3%	+6.6%
EBITDA	5,299	11.6%	5,908	11.4%	+11.5%	+9.2%

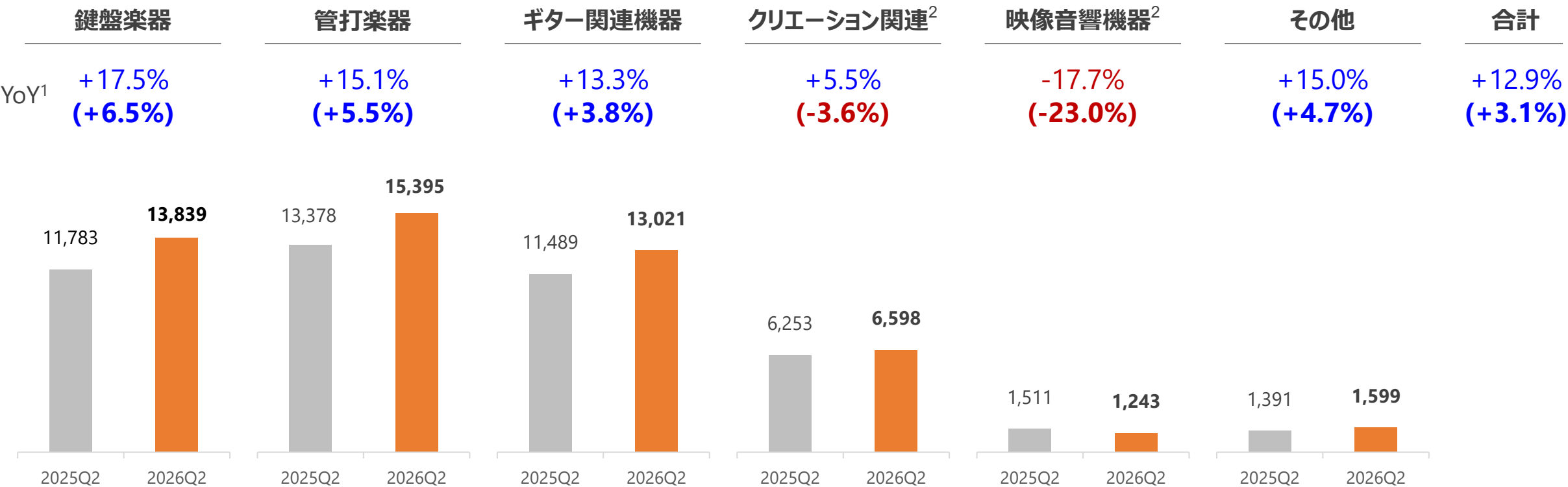
1 2025年12月期Q2累計期間の為替レート 米ドル/円：148.62、ユーロ/円：162.22、ユーロ/米ドル：1.092
2 2026年12月期Q2累計期間の為替レート 米ドル/円：158.19、ユーロ/円：184.58、ユーロ/米ドル：1.167
3 中間純利益は、「親会社株主に帰属する中間純利益」を指す

売上為替影響額
約+44億円

製品別売上高（Q2累計）

- 主力の鍵盤楽器、管打楽器、ギター関連機器で増収
- クリエーション関連機器は、ダンス系製品の好調により4月以降は回復傾向
- 映像音響機器は苦戦継続も、Q3以降新製品で巻き返し見込み

単位：百万円

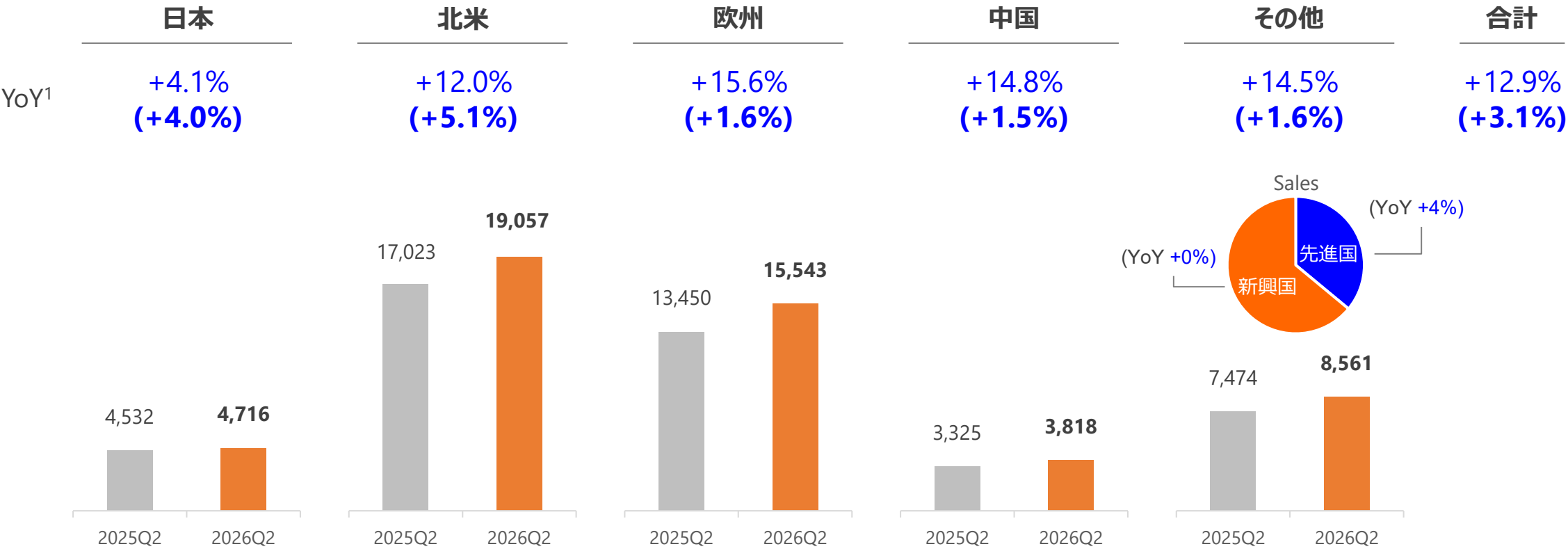


1 カッコ内は、為替影響を除外したYoY
2 カテゴリ区分を軽微に見直し、一部品目の分類を調整。前期比較情報についても同様の基準で組替え

地域別売上高（Q2累計）

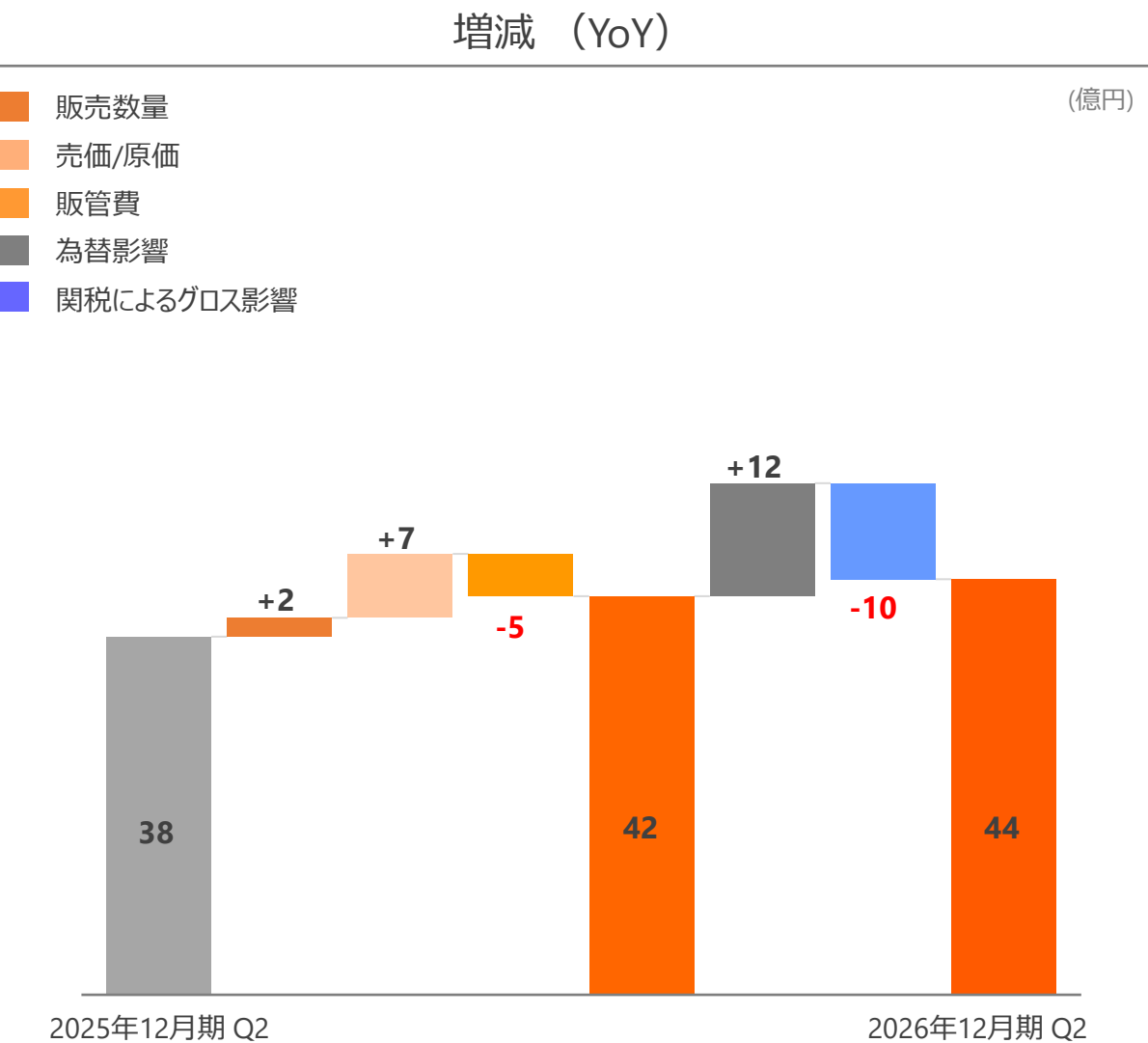
- 全主要地域で前年実績を超過
- 足許は不透明感あるものの、日米欧の需要モメンタムに大きな変化はなし
- 中国は回復ペース鈍化、需要は減少傾向
- 新興国は受注残出荷が進み、前年並みまで回復

単位：百万円



1 カッコ内は、為替影響を除外したYoY

連結営業利益（Q2累計）



- 主な要因（YoY）
- **販売数量**
 - ✓ 市場のゆるやかな回復
 - ✓ 新製品の投入、好調
 - **売価/原価**
 - ✓ 主に価格適正化による効果
 - ✓ 半導体メモリ価格高騰影響は、Q2累計時点では軽微
 - **販管費**
 - ✓ 研究開発、販促費等の増加
 - ✓ 環境変化を鑑み、一部の執行は下期に繰り越し

トピックス：第2四半期発表の主な新製品

GO:KEYSシリーズで、人気キャラクター「ミニオン」とのコラボレーションモデルを発表

ポータブル・キーボード

『GO:KEYS 3 Minion』



「GO:KEYS 3」をベースに、人気キャラクター「ミニオン」の描き下ろしデザインやキャラクターボイスを搭載。初心者から幅広いユーザーが気軽に演奏や音楽制作を楽しめるポータブル・キーボード

ベースモデル

GO:KEYS 3（2024年発売）



トピックス：第2四半期発表の主な新製品

映像音響カテゴリーで、4K対応製品を2機種発表

ビデオ・スイッチャー

『V-1-4K』



『V-1-4K』使用イメージ

ロングセラー「V-1シリーズ」の使いやすさを継承し、小規模イベントや企業セミナー、ライブ配信向けの4K映像システム構築を手軽に実現する小型ビデオ・スイッチャー



ビデオ・コンバーター／スケーラー

『VC-1SC-4K』



『VC-1SC-4K』使用イメージ

LEDビジョンに適した4K映像の変換と画面調整に対応し、中小規模イベントやライブハウス、多目的ホールでの映像システム構築をスムーズに実現するビデオ・コンバーター／スケーラー



トピックス：第2四半期発表の主な新製品

DW社関連ブランドで、ハードウェア・シリーズなどの新製品を発表

DW

9000X Series Hardware



精度・スピード・安定性を追求した、DWの次世代ハードウェア・シリーズ。InnerLock™システムやモジュラー設計により、ライブ環境での素早いセッティングと高い安定性を実現

Slingerland

Gene Krupa Limited Radio King Snare Drum



ジャズ・ドラムの名手Gene Krupaに敬意を表して誕生した、Slingerlandのスネアドラム「Radio King」の限定モデル。

1 2026年12月期 第2四半期決算概要

2 2026年12月期 通期業績見通し

3 補足資料

外部環境変化の整理

- 環境変化影響は概ね吸収可能

	現状認識	前年対比 ¹
1. 中東情勢 緊迫化	- 中東売上は限定的なため、大きな影響なし - 原材料費等がやや上昇 - 一方、調達に関しては対応可能	若干の減益要因
2. 半導体メモリ 需給ひっ迫	- 前年を大幅に上回る価格高騰 - 調達難による今期生産への影響は、ほぼない見込み	大幅減益要因
3. 米国関税 ¹	2月末～7月末の関税率が低下 - 通商法301条を根拠とした7/25以降の新関税率も想定よりは低い¹	減益要因ではあるものの 想定比大幅軽減
4. 為替変動 ¹	- 前年比大幅な円安で推移 - 年内はこの傾向が継続	大幅増益要因

¹ 最新の業績見通しに使用した各種前提は補足資料P.19を参照

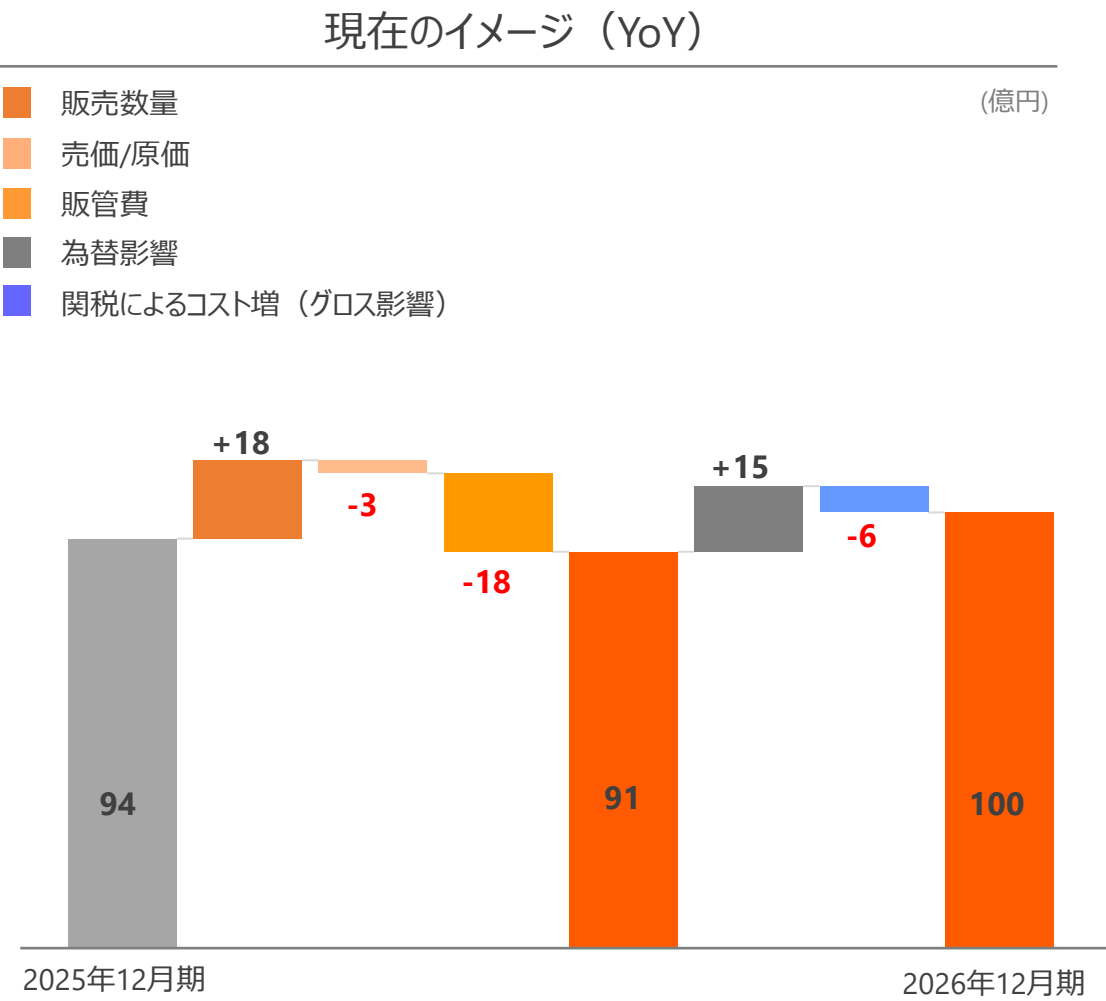
環境変化に対する当社対応

- 影響の最小化に向け、以下4点の取り組みを実行中

	内容
1. 価格適正化	・ 販売数量の変化、競合、市場動向に注意しつつ、段階的に実施
2. 受注残出荷の加速	・ お客様をお待たせしている（＝確実に販売が見込める）製品群の、優先生産と出荷加速
3. 新製品の確実な発売	・ Q3以降の新製品群の確実な発売と販売最大化への取り組み
4. 半導体メモリひっ迫対応	・ 問題長期化に備えた先行手配の強化 ・ 開発優先順位の見直しや、戦略的なアロケーションにより、来期以降の影響を最小化

連結営業利益予想

● 営業利益予想金額に変更なし（100億円）



- 主な要因（YoY）
- **販売数量**
 - ✓ 市場のゆるやかな回復
 - ✓ 受注残の出荷加速、新製品でアドオン
 - **売価/原価**
 - ✓ 半導体メモリを中心とした材料コスト等の大幅な上昇（16～18億円程度）
 - ✓ 価格適正化による効果
 - **販管費**
 - ✓ 中計関連投資、人件費増加等
 - ✓ 現時点では年間執行計画を維持
 - **関税**^{1,2}
 - ✓ 対前年同期比較での影響額は徐々に減少
 - ✓ 下期はYoYプラス影響見込み（+4億円程度）

1 最新見通しに使用した前提は、補足資料P.19を参照
2 関税還付については不確定要素が多く、現時点では見通しに織り込んでおりません（30億円前後）

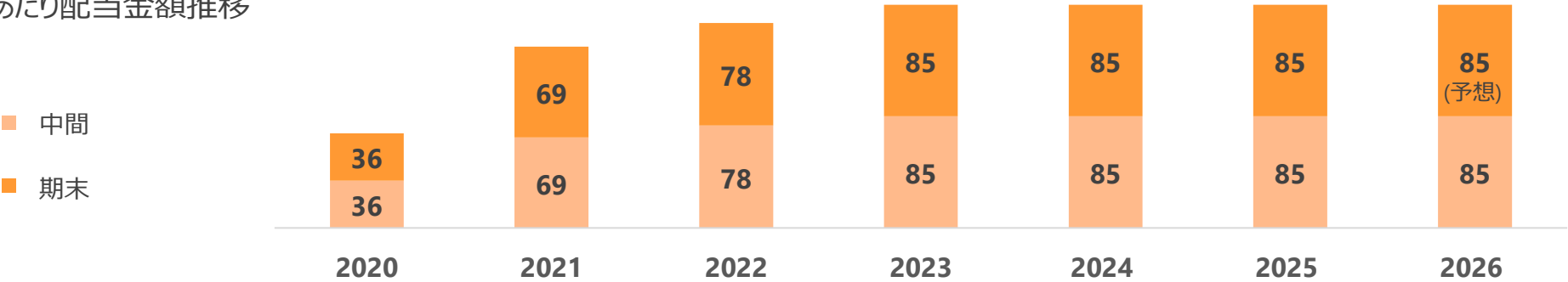
株主還元

- 中間配当は予定通り、1株当たり85円を決議
- 期末配当予想に変更なし

	(予想)						
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
配当額	19億円	38億円	43億円	47億円	47億円	45億円	45億円
自己株式取得額	-	-	20億円	-	58億円	-	-
総還元額	19億円	38億円	63億円	47億円	105億円	45億円	45億円
総還元性向	46.0%	45.0%	68.2%	57.8%	176.2%	208.0%	62.6%
配当性向	46.0%	45.0%	48.2%	57.8%	79.2%	208.0%	62.6%

(57.5%²)

1株あたり配当金額推移



1 DOE（自己資本配当率）：配当額÷連結自己資本
2 子会社の減損損失等の影響を除く総還元性向

1 2026年12月期 第2四半期決算概要

2 2026年12月期 通期業績見通し

3 補足資料

現時点の、2026年度業績見通しに採用している各種前提

米国追加関税率

生産地	1月～2月	3月～7月	8月～12月
Malaysia	19%	10%	10%
China	20%	10%	12.5%
Taiwan	20%	10%	10%
Japan	15%	10%	12.5%
Vietnam	20%	10%	12.5%
Thailand	19%	10%	12.5%
Indonesia	19%	10%	10%

為替レート（2026Q3以降）

	想定レート
USD/JPY	158円
EUR/JPY	185円
EUR/USD	1.171

（ご参考）為替感応度^{1, 2}

	変動幅	売上	営業利益
USD/JPY	¥1 円安	+2.9億円	+1.2億円
EUR/JPY	¥1 円安	+1.8億円	+0.1億円
EUR/USD	¢1 ドル安	-	+1.7億円

1 年間影響額（目安）

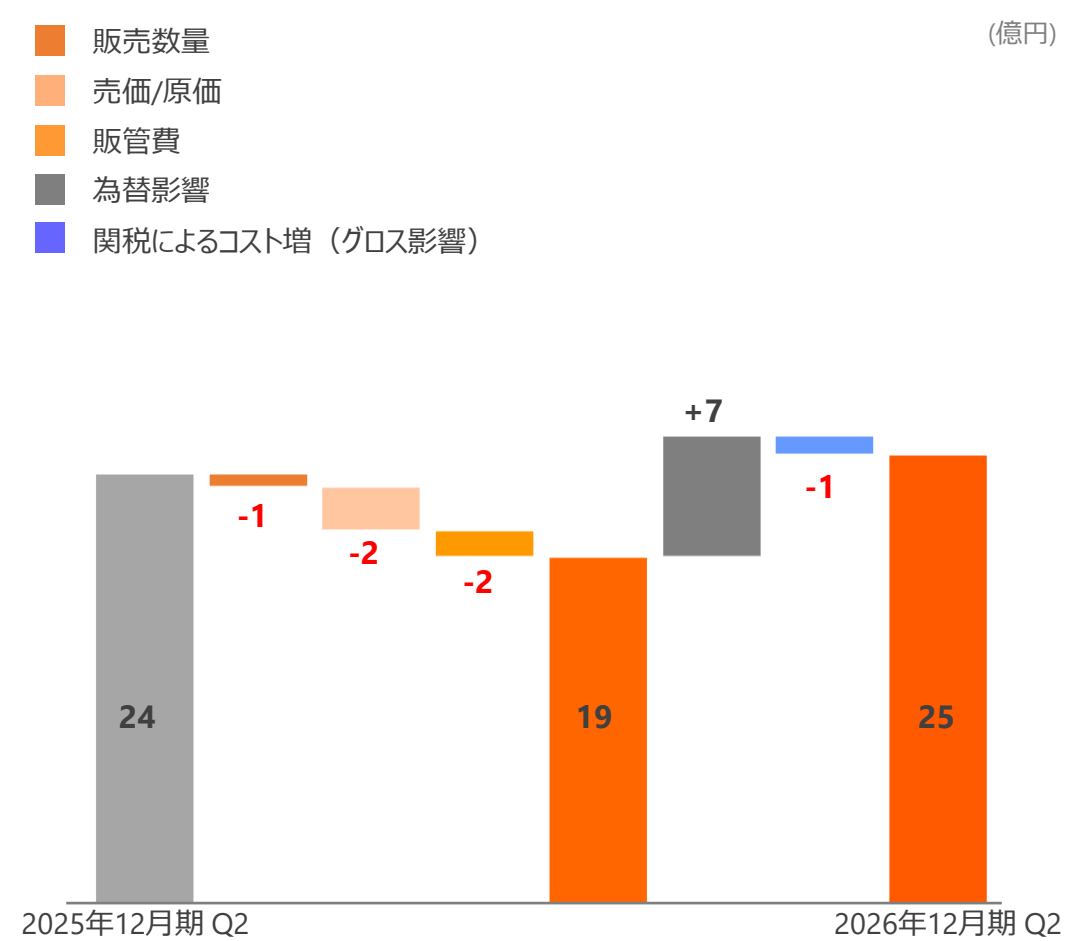
2 実際には様々な通貨ペアの影響や売上構成比の変化等の影響があり、想定と実際の為替影響額は異なる場合があります

連結業績（4-6月期／3か月間）

	2025年12月期 Q2 3M ¹		2026年12月期 Q2 3M ²		
(単位: 百万円)	実績	売上比	実績	売上比	YoY
売上高	23,263	100.0%	26,064	100.0%	+12.0%
売上総利益	10,196	43.8%	10,984	42.1%	+7.7%
販管費	7,814	33.6%	8,493	32.6%	+8.7%
営業利益	2,382	10.2%	2,490	9.6%	+4.5%
四半期純利益 ³	2,079	8.9%	1,769	6.8%	-14.9%
EBITDA	3,101	13.3%	3,229	12.4%	+4.1%

1 2025年12月期Q2 3Mの為替レート 米ドル/円：144.62、ユーロ/円：163.87、ユーロ/米ドル：1.133
2 2026年12月期Q2 3Mの為替レート 米ドル/円：159.50、ユーロ/円：185.45、ユーロ/米ドル：1.163
3 四半期純利益は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」を指す

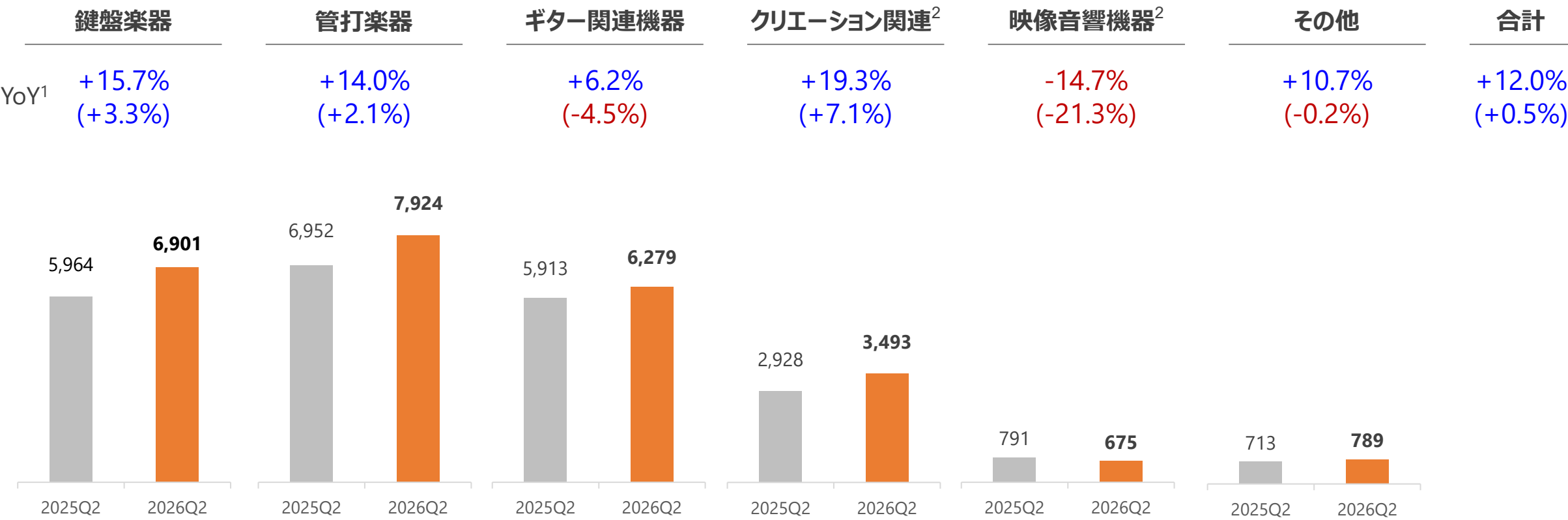
営業利益増減要因（YoY）



製品別売上高（4-6月期／3か月間）

- 鍵盤楽器、管打楽器は堅調な販売が継続
- ギター関連機器は、エフェクター好調継続も、アンプ関連が新製品効果一巡
- クリエーション関連機器は、受注残出荷が加速し増収
- 映像音響機器は、物件納入の減少および新製品投入前の減速。Q3以降の回復を見込む

単位：百万円



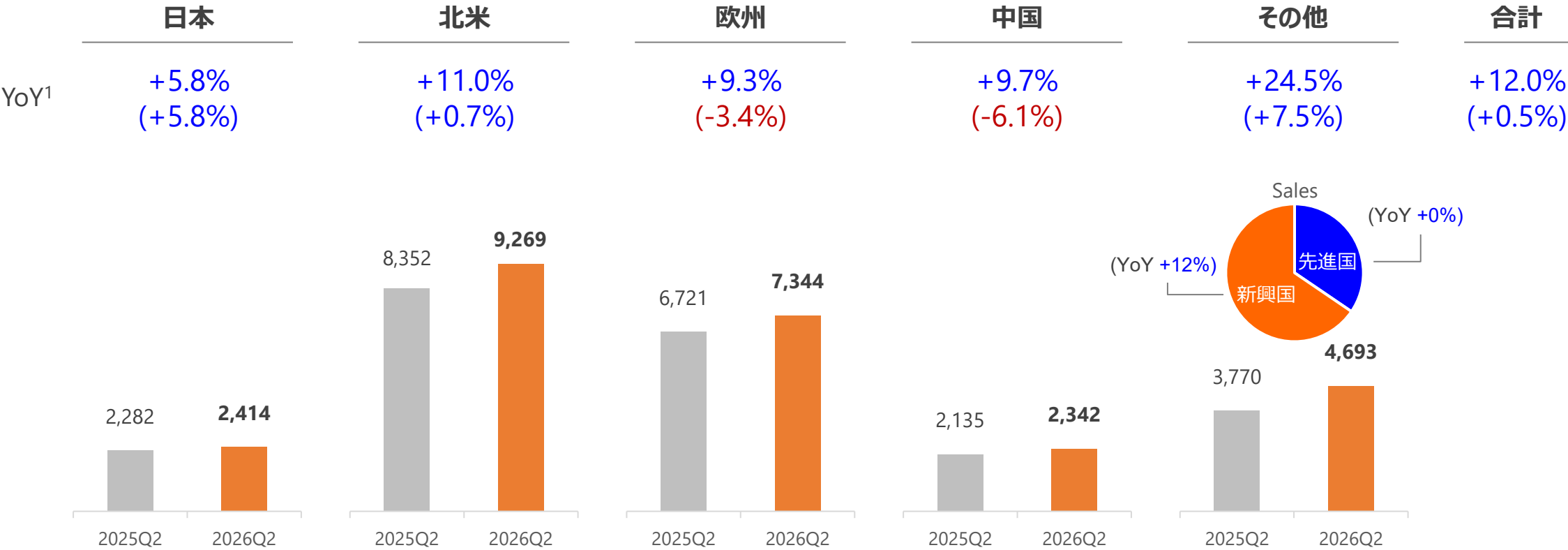
1 カッコ内は、為替影響を除外したYoY

2 カテゴリ区分を軽微に見直し、一部品目の分類を調整。前期比較情報についても同様の基準で組替え

地域別売上高（4-6月期／3か月間）

- 基本的な需要動向に大きな変化はないものの、昨年実施の価格適正化効果は一巡
- 欧米は、4月やや低調も、以降回復傾向
- 中国は、価格適正化前のセルイン増（1Q）の反動減に加え、大型Webセール不調
- 新興国は、Q1欠品影響のキャッチアップが進展

単位：百万円



1 カッコ内は、為替影響を除外した比較

主要連結財務数値

(単位: 百万円)	2025年12月期 Q2	2026年12月期 Q2	(単位: 百万円)	2025年12月期 期末	2026年12月期 Q2末
売上高	45,806	51,697	現金及び預金	15,876	16,771
売上総利益	19,756	21,667	受取手形及び売掛金	13,353	12,210
販売費及び一般管理費	15,931	17,229	棚卸資産合計	27,321	28,583
営業利益	3,825	4,437	その他流動資産	2,243	1,767
経常利益	3,687	4,191	流動資産合計	58,795	59,332
税金等調整前中間純利益	3,852	4,041	有形固定資産合計	14,234	14,444
親会社株主に帰属する中間純利益	3,914	3,199	のれん	2	-
EBITDA	5,299	5,908	その他固定資産	10,444	10,660
D/Eレシオ	0.6x	0.5x	固定資産合計	24,681	25,105
自己資本比率	46.8%	51.5%	資産合計	83,477	84,437
Debt / EBITDA ¹	2.1x	1.5x	支払手形及び買掛金	6,841	8,832
ROE ¹	14.6%	3.5% [16.0% ⁴]	短期借入金	1,100	-
ROIC ¹	14.8%	15.1%	1年内返済予定の長期借入金	2,570	2,570
研究開発費	2,528	2,714	その他流動負債	9,659	8,635
設備投資額 ²	3,873	1,301	長期借入金	18,490	17,205
減価償却費	1,474	1,471	その他固定負債	3,452	3,417
フリー・キャッシュ・フロー ³	5,880	5,609	負債合計	42,113	40,660
			純資産合計	41,364	43,777
			負債純資産合計	83,477	84,437

1 Debt/EBITDA、ROE、ROICは年換算（直近12か月累計）値
2 有形+無形固定資産の金額
3 フリー・キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローと投資キャッシュ・フローの合計
4 2025年度に計上した、Drum Workshop社に係る一時費用の影響を除く

将来見通しに関する注意事項

本資料はローランド株式会社の「将来予想に関する記述に該当する情報」が記載されています。本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。これら将来予測に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、実際の業績と大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、当社の事業を取り巻く経済情勢、需要動向、為替相場の変動等が含まれます。